

2022年2月7日

## 2022年3月期 第3四半期連結業績の概要

### <2022年3月期 第3四半期累計業績:連結売上収益>

世界的な半導体の供給不足に加え、東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大に起因した部品供給の制約が発生し、国内外生産拠点で生産調整や操業の一時停止を行いました。第3四半期累計の全世界生産台数は前年同期比10.6%減の549千台、国内生産は同12.4%減の350千台、海外生産は同7.2%減の199千台となりました。

この結果を受けて全世界販売台数は、前年同期比13.1%減の548千台となりました。海外販売台数は同14.2%減の482千台、国内販売台数は同5.1%減の66千台となりました。

連結売上収益は、販売台数の減少により、同3.2%減の2兆75億円となりました。

### <2022年3月期 第3四半期累計業績:連結損益>

連結損益については、販売奨励金の抑制や利益率の高いモデルの販売比率が伸びたこと等による増益効果があったものの、販売台数の減少や原材料価格の高騰等により、営業利益は前年同期比211億円減少となる772億円、税引前利益は同144億円減少となる913億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同113億円減少となる629億円となりました。

### <2022年3月期 通期連結業績見通し>

前回発表時点\*では、半導体の供給不足緩和を見通して第3四半期以降での挽回生産を計画していましたが、現時点においても想定を上回る半導体供給不足の影響が継続していることにより、通期連結業績見通しについては、前回発表値に対して、全世界販売台数は90千台減の740千台(前年同期比14.0%減)、売上収益は2,000億円減の2兆7,000億円(同4.6%減)、営業利益は500億円減の1,000億円(同2.4%減)、税引前利益は450億円減の1,100億円(同3.5%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は350億円減の750億円(同2.0%減)にそれぞれ修正します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥112/US\$、¥130/EUROです。

\* 2021年11月5日発表

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



< 2022年3月期 第3四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 2021年3月期 第3四半期累計期間 (2020. 4. 1-2020. 12. 31)	当期実績 2022年3月期 第3四半期累計期間 (2021. 4. 1 — 2021. 12. 31)		前期実績 2021年3月期 通期 (2020. 4. 1-2021. 3. 31)	当期予想 2022年3月期 通期 (2021. 4. 1 — 2022. 3. 31)		前回当期予想 2022年3月期 通期 (2021. 4. 1-2022. 3. 31)		
		増減	増減率		増減	増減率			
売上収益	20,748	20,075	-673	-3.2	28,302	27,000	-1,302	-4.6	29,000
日本	3,426	3,457	31	0.9	4,983	-	-	-	-
海外	17,323	16,618	-705	-4.1	23,319	-	-	-	-
営業利益	983	772	-211	-21.4	1,025	1,000	-25	-2.4	1,500
利益率	4.7	3.8			3.6	3.7			5.2
税引前利益 <sup>*1</sup>	1,057	913	-144	-13.7	1,140	1,100	-40	-3.5	1,550
利益率	5.1	4.5			4.0	4.1			5.3
親会社の所有者に帰属する 当期利益 <sup>*2</sup> 利益率	742	629	-113	-15.3	765	750	-15	-2.0	1,100
	3.6	3.1			2.7	2.8			3.8
営業利益増減要因			為替レート差 売上構成差等 諸経費等 原価低減等 研究開発費 その他	196 75 46 -486 -3 -39		為替レート差 諸経費等 売上構成差等 原価低減等 研究開発費 その他	452 216 162 -786 -2 -67		
為替レート	106円/US\$ 122円/EURO	111円/US\$ 131円/EURO			106円/US\$ 123円/EURO	112円/US\$ 130円/EURO			110円/US\$ 130円/EURO
設備投資	525			506	862			900	900
減価償却費	710			699	950			1,000	1,000
研究開発支出 <sup>*3</sup>	747			869	1,016			1,200	1,200
有利子負債残高	3,343			3,449	3,339			-	-
業績評価			・2期連続の減収 ・6期連続の各利益減益 ・2期連続の連結販売台数減			・2期連続の減収 ・2期連続の各利益減益 ・2期連続の連結販売台数減			
日本販売台数合計	70	66	-4	-5.1	102	85	-17	-16.6	97
登録車	55	54	-1	-1.5	82	68	-14	-17.5	78
軽自動車	15	12	-3	-18.4	20	17	-3	-13.0	19
海外販売台数合計	561	482	-79	-14.2	758	655	-103	-13.6	733
北米	495	411	-84	-17.0	661	562	-100	-15.1	625
欧州	12	15	3	25.1	18	-	-	-	-
中国	20	11	-9	-45.7	24	14	-10	-42.4	16
その他	34	45	11	32.9	54	-	-	-	-
連結販売台数総計	631	548	-83	-13.1	860	740	-120	-14.0	830
生産台数合計	614	549	-65	-10.6	810				860
日本	400	350	-50	-12.4	525				540
米国	215	199	-16	-7.2	285				320
売上収益 事業別	自動車 航空宇宙 その他	20,016 695 38	19,573 466 36	-442 -229 -2	-2.2 -32.9 -5.6	27,375 877 50			
営業利益 事業別	自動車 航空宇宙 その他 消去・全社	1,005 -59 35 1	750 -25 46 1	-255 34 11 -0	-25.4 57.8 30.6 -4.6	1,091 -98 31 1			

\*1. 第3四半期累計期間について、財務諸表上は「税引前四半期利益」として記載

\*2. 第3四半期累計期間について、財務諸表上は「親会社の所有者に帰属する四半期利益」として記載

\*3. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。

注1. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注2. 日本生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。